

学校教育目標 「つよいきずなで よさをのぼそう」  
重点目標 「すすんで やる子」

### 子どもたちの成長の年に

校長 望月 秀一

明けまして おめでとうございます

旧年中は、温かなご支援、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

本年も、子どもたちとともに、学校教育目標に向かって、日々頑張っています。



今年は、「**戌年**」です。9日の朝礼では、全校児童に干支の話から、十二支を言わせてみました。「子、丑、寅、卯、辰、未・・・。」ほとんどの子どもたちが十二支を言えて、その動物も理解できていました。また、自分の干支も知っていて、今年は、5年生の多くと6年生の一部が「戌年」生まれです。戌年は、勤勉に努力すると良い年になると言われていますので、自分の目標に向かって一生懸命頑張っていくように話しました。また、昨年暮れの全校集会では、「**一年の計は元旦にあり**」という話をしました。下の目標は、教室に戻ってから子どもたちが書いたものですので紹介します。

- ・二十とびをがんばりたい。(1年 大塚 彩実)
- ・今年も正しく、強くがんばりたい。(1年 野村 壱正)
- ・なわとびを連続してとべるようになりたい。(きずな 望月 杏香)
- ・お風呂で苦手な段を練習して、九九を全部暗記したいです。(2年 山川 仁菜)
- ・勉強や朝運動をがんばること。忘れ物をしないこと。(3年 鷺坂 怜奈)
- ・勉強をがんばること。運動でもっと速く走ること。友達をもっと増やすこと。(4年 秋山 未莉)
- ・計算を速くして、正しく問題を解きたいです。(5年 三浦 來橙)
- ・中学生になるので、自分の意見をきちんともち、前へ進みたい。(6年 小川 海音)

子どもたちには、**自分が立てた目標に向かって努力し、それをやり遂げる強さ**が持てるよう支援していきたいと思います。例え、**良い結果や出来ないことがあっても、それに挑む姿勢は次につながり、自分自身を高めていくきっかけになる**と考えています。「自分だってやればできるんだ。」という、自信をもたせていくことが自己肯定感を高めることにつながっていくと思います。**上手い出来ないときや人によって歩みの違いがあっても、それを温かく受け入れる教室や仲間を育てていきたい**と思います。

12日(金)には、「**神戸地区まちづくり協議会**」の全体会へ出席させていただき、来年度、「**地域とともにある学校づくり**」に向けて、お話をさせていただきました。地域と学校の子どもの思いや願いを共有していくことが、次期学習指導要領のねらいにあります。地域の方からは、積極的に自分の思いを発言できる子になってほしい。上級生と下級生のつながりを大切にしながらリーダーを育ててほしい。魅力ある神戸地区をつくれる大人になってほしい。そんな声が聞かれました。私たち学校の課題でもある、「表現力」を付けることや、仲間や地域・社会とのつながりをもたせ、自分らしさを発揮することなど、子どもたちをさらに成長させていきたいと思っています。本年も、昨年同様、ご支援、ご協力を重ねてお願いいたします。